

保健福祉・協働委員会委員長報告

保健福祉・協働委員会における審査の経過並びに結果についてご報告いたします。

本委員会に付託されました案件は、甲第115号議案令和3年度岡山市一般会計補正予算（第2号）について、ほか15件の議案についてであります。

これらの審査に当たりましては、当局の説明を聴取し、慎重に審査いたしました結果、いずれも全会一致で原案のとおり可決並びに同意すべきものと決定いたしました。

それでは、議案からは離れますが、新型コロナウイルス感染症の感染状況等について報告を受ける中で特に議論となりました、企業等におけるワクチン接種の推進についてご報告いたします。

これは、国の職域接種とは別に、中小企業等も含めた職域接種を本市が支援し、効率的な接種を推進するものです。

委員から、接種場所及び医療従事者等の確保は企業側の役割となっている。医療従事者のワクチン接種が進み、様々な協力をしようとする医療従事者がおられる中で、市が保有する情報を活用しながら医療従事者確保に一定の支援が行えないのかとの質問があり、当局から、現在のところ医療従事者の紹介などは考えていないが、ホームページに掲載している医療機関の空き情報等を案内したい、との答弁がありました。

これを受け委員から、本事業は効率的な接種の推進が目的であり、これから企業等が調整するに当たり、市は情報提供できる立場にあることから、一定の支援を検討いただきたいとの要望がありました。

さらに委員から、高齢者がワクチン接種を予約する際、インターネット予約や電話予約等の手続きについて十分な理解が進まなかった。今後ワクチンの一般接種も始まるが、より分かりやすい情報提供を行うよう留意していただきたいと、あわせて要望がありました。

以上、本委員会における議論をご報告いたしましたが、このほかにも審査の過程で、さまざまな意見や要望が出されました。当局におかれましては、それらの意見や要望に十分留意され、事務事業の執行に当たられますよう申し添え、保健福祉・協働委員会の報告を終わらせていただきます。